

八幡で生まれて、八幡で育って四十六年

稲葉健二の ひと言メッセージ

第5号

稲葉健二後援会
市川市八幡2-2-10
TEL 333-1783
FAX 334-1990

内部討議資料



九月定例会が、九月四日（木）～二十二日（月）の会期にて開会されました。

私、稲葉健二は六月定例会に引き続き、一般質問をさせていただきます。内容は次の通りです。

- ① 市川市役所周辺の道路事情について
 - ・ 市役所脇の道路と踏切について
 - ・ 葛飾八幡宮参道前踏切と私有地通行について
 - ・ 葛飾八幡宮参道と国道14号とのT字路の交通問題について
- ② 八幡小学校前の道路の安全対策について
 - ・ 今までの安全対策と今後の安全対策について
- ③ 小・中学校における「いじめ」「不登校」について
 - ・ 「いじめ」「不登校」の認識・把握について
 - ・ 「いじめ」「不登校」の対応・対策について

①に関してですが、市川市役所の裏側ニヶ所の踏切、まず自動車通行の可能な踏切ですが、幅員が狭く歩道、車道の区別もなく、踏切内には段差があり、歩行者、自転車、自動車、どの交通手段においても大変危険な道路であると思います。また、市役所側から渡りきった交差点は、優先順位がはっきりしていないため、歩行者、自転車にとっては危険な状態であるばかりか、先には市川学園幼稚園があり園児の通行も考えると早急に対応してほしい問題だと思えます。また、この踏切を幼稚園方面からは自動車では渡れないため、葛飾八幡宮の参道踏切を渡る車が多く生活道路としての安全を脅かされるばかりではなく、国道14号とのT字路は、マスコミでも何度も取り上げられている危ない交差点です。また、この国道14号線には、本八幡駅前ロータリー交差点から市役所前押しボタン信号まで

歩道橋がひとつあるだけ。そしてこの歩道橋、あまり喜んで使われているとは思えず、特に弱者の方には到底使いやすい代物ではありません。どうか、先のT字路の交通安全の問題と、国道を安心して渡れる横断歩道の設置を進めて行きたいと思っています。

②に関しては、八幡小の前の通り。この道路もマスコミでも何度も取り上げられ、朝の自転車の通行量には凄まじいものがあります。一部の方の自転車の通行マナーの悪さ、また朝のスクールゾーン規制での違法進入車両、通学路であるにも関わらずこの危険な道路を、今までのように安全対策を施して来たのか、これからどのように安全対策を施すのか。市川学園幼稚園、八幡小学校出身の稲葉健二は大変気になるところです。また、八幡小学校庭には防球ネットがないため、この道路にボールが飛び出し、歩行者等に当たる・交通事故の原因になる、といった心配があります。ぜひ、防球ネットの設置を推進したいと思えます。

③については、千葉県内公立小中高校で確認された「いじめ」の数は、全国で2番目。このことから県内において市川市の「いじめ」の件数、実態、内容はどのようなものになっているのか、その発見方法はどのようなのか、教育委員会ではどのような対応を考え、どのように対策を講じているのかを質問しました。また、「不登校」問題にあたり、教育委員会で行っている対応の「ふれあい体験授業」の具体的な内容、効果のこともお訊きしました。長年、PTA、ナーチャリングコミュニティなどの活動に参加してきた私にとっては、大変気になる問題ですし、先の安全な登下校の問題とともに、関係担当者で協議し、早急に対応、対策をと考えています。未来を担う大切な子どもたちのために…

会派ってなあに？

皆さんも「会派」という言葉をお聞きになったことがあると思います。同じ政策理念、基本理念を持った市議たちが集まって作るグループのことです。簡単に言えば、同じ考えを持った仲間。

私、稲葉健二が所属しているのは「緑風会第二」。今回の統一地方選挙で初当選したフレッシュメンバーでの会派です。先輩市議の「緑風会」の弟みたいな存在。先輩たちのご指導のもと一生懸命勉強しています。ただし、思想的に拘束されるわけでもなく、みんなで十分議論を重ね、個人の意思をも尊重する、そんなグループです。

この会派、3人以上になると議運（議会運営委員会）に代表を出せるんです。議会運営委員会とは、市議会を円滑に、かつ効率的に運営するため、各会派から選出された委員により構成されています。定例会・臨時会の会期（開催期間）や議案の取扱いなどの議会運営に関わる事項などについて協議を行うところ。

